

近代東アジアの茶業と外商

ーハリソンズ&クロスフィールド社文書についてー

戸部 健（静岡大学学術院人文社会科学領域）



1. 近代日本茶業にとっての外商

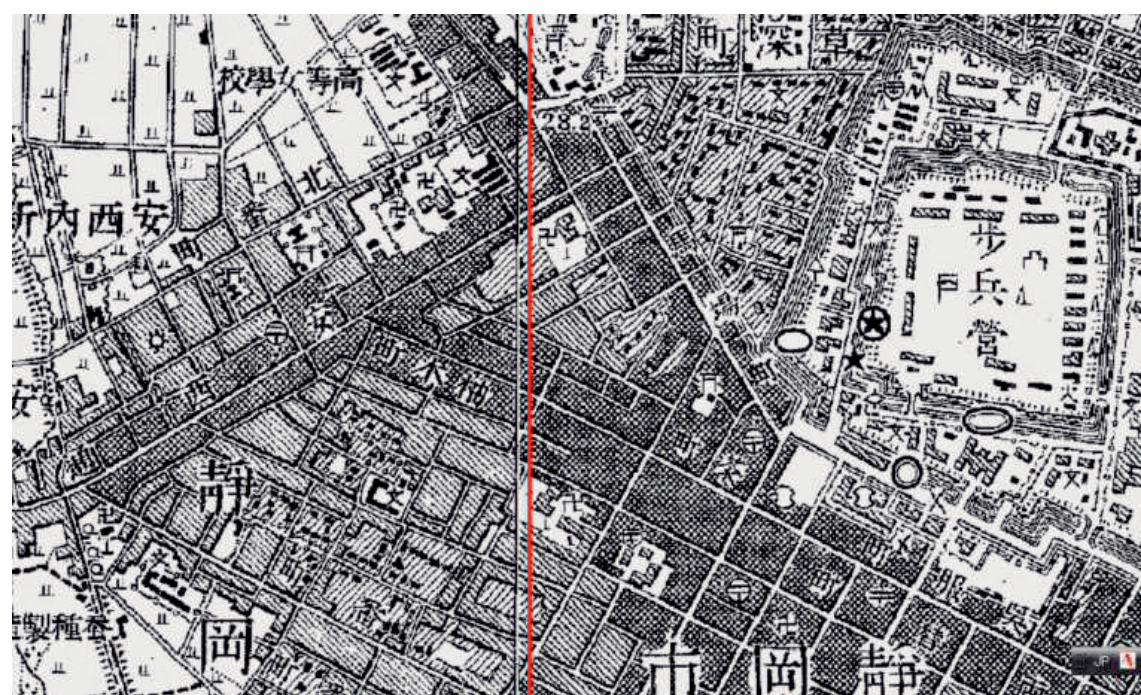
近代において日本茶の主な輸出先となったのは北米やロシアでしたが、その際に海外の茶商も大きな役割を果たしたことはよく知られています。静岡においても早くからイギリス・アメリカ・ロシアなどの外商が安西や北番町などに拠点を構えていました。

近代静岡における主な海外茶貿易会社

会社名	設立年
ジークフリード	1902
ジャーディン・マセソン	1908
スミス	1909
ホイットニー	1911
アーウィン・ハリソンズ&クロスフィールド	1914
ヘリヤ（神戸から移転）	1917

『静岡県茶業史』より。ホイットニーとアーウィン・ハリソンズ&クロスフィールドは1924年に合併し、アーウィン・ハリソンズ&ホイットニーとなる。

1918年当時の安西周辺

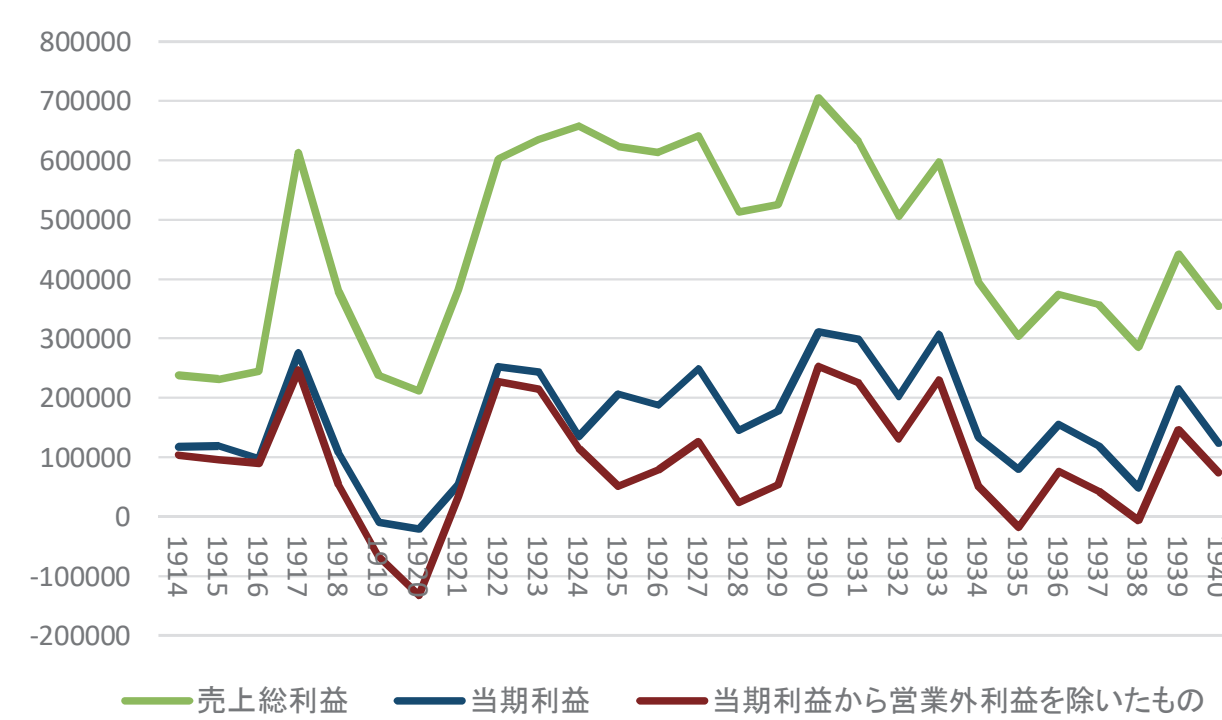


静岡県GISより

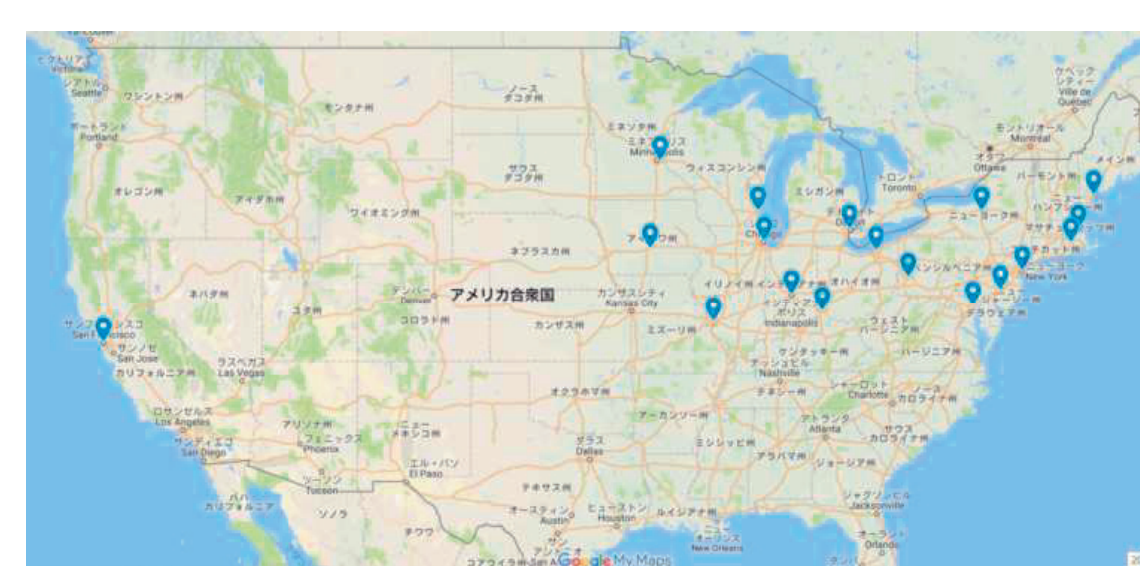
4. 文書から見えるアーウィン社の動向

アーウィン社はアメリカのフィラデルフィアを本拠に世界中の茶をアメリカに輸入していました。なかでも日本茶の輸入量は1920年代以降アメリカ最大でした。**ロンドン市文書館には同社の損益計算書・賃借対照表および往復書簡が保存されており、その記述から同社の収益や拠点の位置などが明らかになりました。**

アーウィン社の営業利益 単位:米ドル



アーウィン社の支店と販売員の所在地

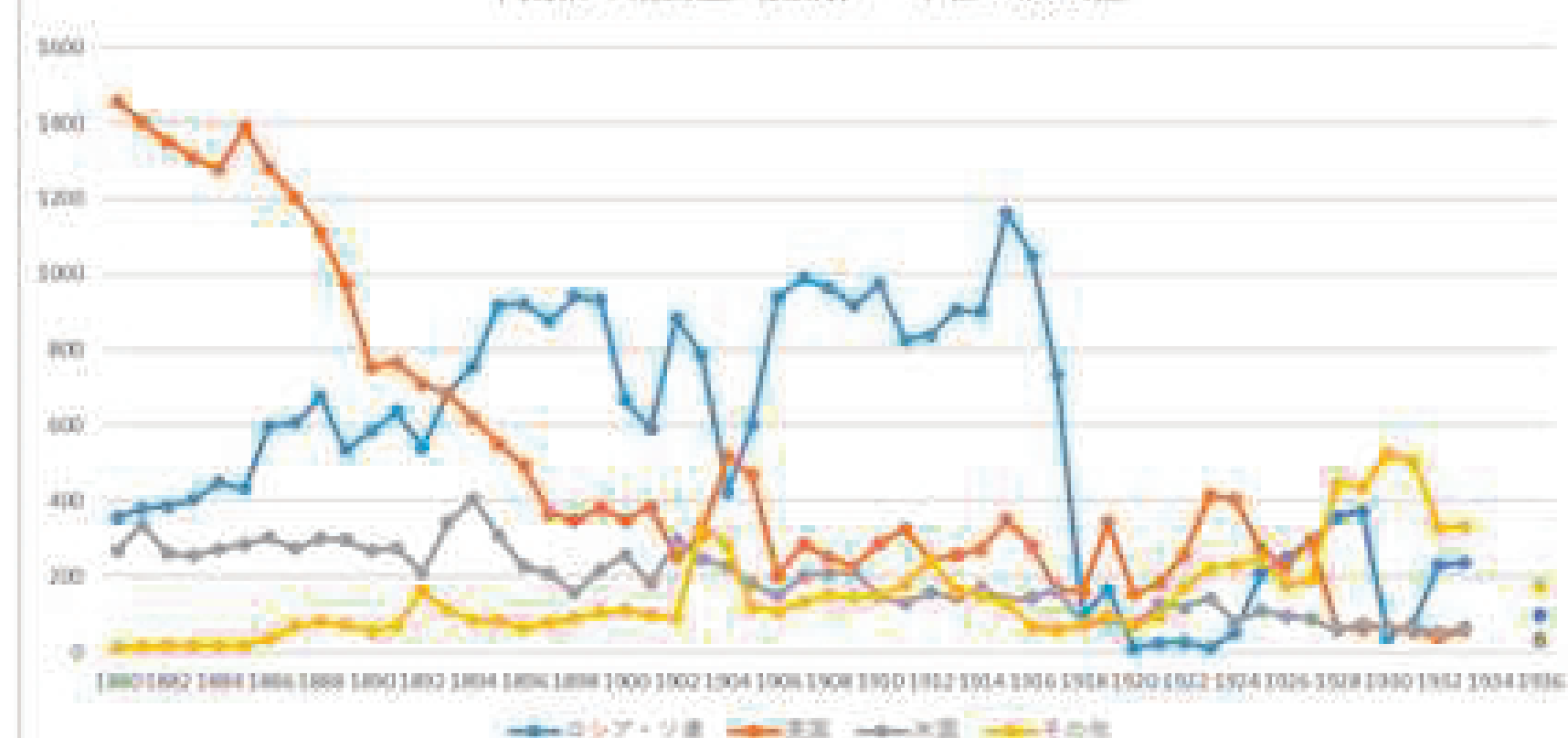


ともにアーウィン社の損益計算書の記載をもとに作成

2. 近代中国茶業にとっての外商

中国茶の主な輸出先はイギリス・ロシア・アメリカでしたが、その後衰退していき、1920年代以降は北アフリカなどへの輸出が増えていきました。中国にも多くの外商が進出しましたが、多くは上海・漢口・福州・香港などに拠点を構えました。

中国茶の輸出量（国別） 単位:1000担



呉寛農『中国茶業復興計画』、清水彦四郎『支那茶特殊事情』掲載の表をもとに作成

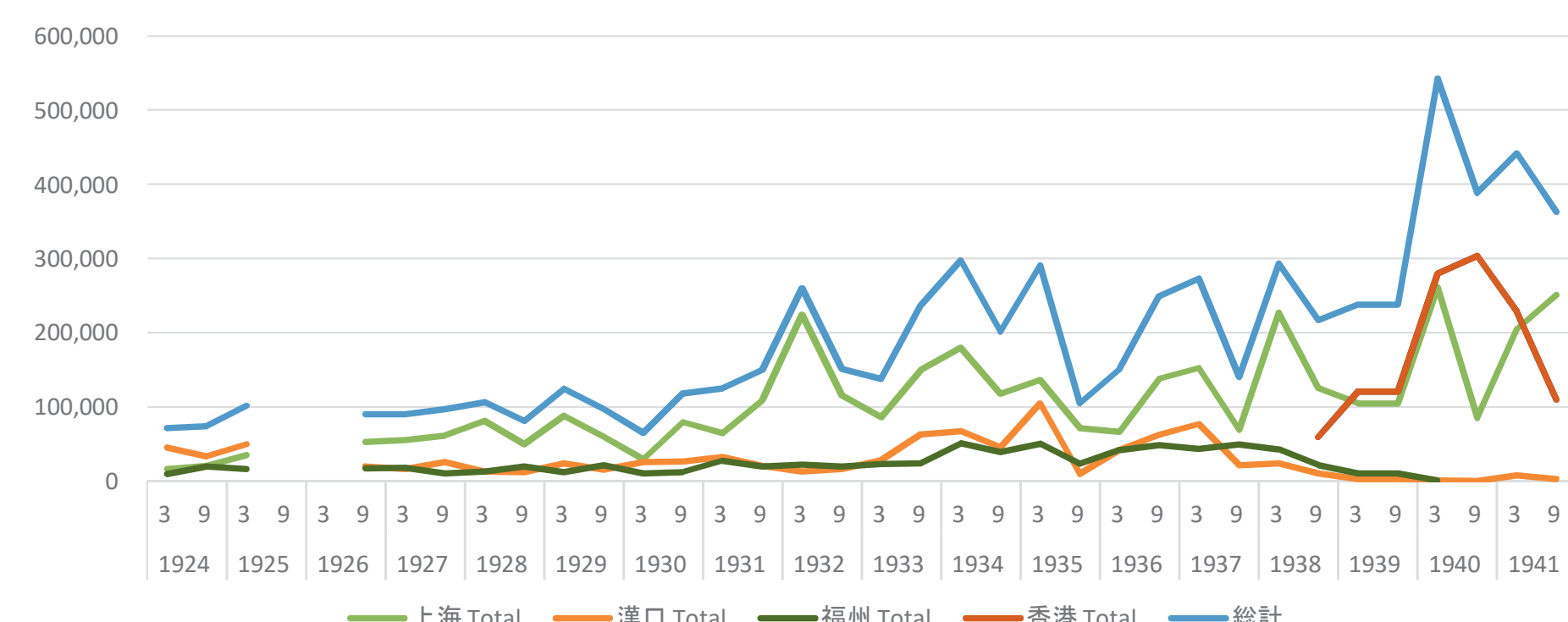


The Romance of Tea (1934)

5. 文書から見えるキング社の動向

一方、キング社は中国の上海・漢口・福州・香港を拠点に中国茶の取引をしていました。ロンドン市文書館には同社の損益計算書・賃借対照表および往復書簡も保存されており、同社の経営状況などを知ることができます。**当時中国茶全体の輸出量は減少の一途をたどっていましたが、それでも同社が収益を保ち続けていることが分かります。**

キング社各支店の茶関係の手数料・投機事業収入 単位:上海両



キング社の損益計算書の記載をもとに作成、1925年9月と26年3月については資料が欠損

ロンドン市文書館



3. ハリソンズ&クロスフィールド社について

そうした外商のうち、1920年代以降日本茶に関してはアーウィン・ハリソンズ&クロスフィールド社（後のアーウィン・ハリソンズ&ホイットニー社、以下アーウィン社）が、中国茶に関してはハリソンズ・キング&アーウィン社（以下キング社）が最も多く取り扱うようになります。**両者はともに英国のハリソンズ&クロスフィールド社のグループ会社でした。これらの会社の文書は、現在ロンドン市文書館（London Metropolitan Archives）に所蔵されています。**



アーウィン社のネットワーク（China, 1919）

6. 更なる動向解明に向けて

以上のほかに、グループ会社間での連携のあり方などについても様々なことが分かってきています（下図で示すような株式の持ち合いなど）。今後さらに文書の収集・読解を進め、その成果を他の文献の記述とも組み合わせることで、ハリソンズ&クロスフィールド社系のグループ会社の近代東アジア茶業における意味を一層明らかにしたいと考えています。

キング社の株式保有者（1925～1937年）

株主名	所属・所在地	株式数
Harrisons & Crosfield, Ltd.	London	8820
Irwin Harrisons Whitney, Inc.	Philadelphia	5880
Gale, Bertie William	Harrisons, King & Irwin, Shanghai	1300
King, William Seaton	Harrisons, King & Irwin, Shanghai	4000

典拠：香港政府檔案処所蔵の史料

より詳しく知りたい方は

- 戸部健「戦前期北米の東アジア茶専門貿易業者の経営状況ーロンドン市文書館所蔵アーウィン商会関係資料について」『アジア研究』（静岡大学）12号、2017年。
- 戸部健「近代中国における英国系茶貿易商社の動向解明に向けてーロンドン市文書館所蔵ハリソンズ・キング・アンド・アーウィン社関係文書について」『アジア研究』（静岡大学）別冊7、2018年。